

早期発見で完治できる！

検診が大事なのは分かるけど、がんが見つかったら怖いから…と思っている人はいませんか？ 乳がんは早期に発見できれば、治る可能性も高くなります。定期的に検診を受けたり、セルフチェックを習慣付けるなど、忙しい生活の中でも、自分の体に目を向けてみましょう。

健康診査受診券で 乳がん検診を受けましょう！

実施期間 平成29年3月31日(金)まで

検診場所 市ホームページに掲載している健康診査指定医療機関一覧表をご覧ください。

内 容 超音波検査

30歳以上の人 2,000円

超音波検査+マンモグラフィ検査

40歳以上の奇数年齢の人 4,000円

マンモグラフィ検査

41・46・51・56・61歳の人

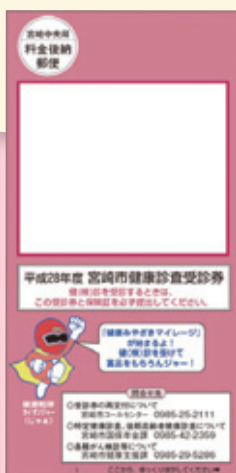
無料(別途クーポン券を郵送)

※受診券、クーポン券を紛失した人は再発行ができます。



乳がんは早期発見で治療できる病気です。まずは検診に行きましょう！

宮崎県産婦人科医会
がん対策担当理事
まつ 松 敬文 医師



4 検査中

検診は、乳腺が張っていない、月経が始まって1週間から10日くらいがお薦め！



放射線技師の指示に従って体の位置を動かし撮影します。乳房を平らに引き伸ばすことにより、少ない放射線量で、診断に必要な質のよい写真を撮ることができます。

5 支払いをして終了



撮影が終わったら、料金を支払って全ての検査が終了です。

6 検査結果

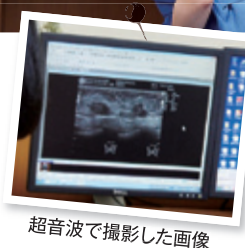
1~2週間後、郵送で検査結果が届きます。施設によっては、先生から直接説明があります。

皆さんの健康を支援します。検診を通して自分の体のことを知しましょう。



マンモグラフィで撮影した画像を見ながらの説明

健康支援課
課長 米良 博子



超音波で撮影した画像

「乳がんって どんな病気？」

乳がんとは、乳房の中にある乳腺にできる悪性の腫瘍です。乳がんが進行すると、肺、肝臓などの臓器や、リンパ節、骨などにがん細胞が転移して、さまざまな症状を引き起こします。乳がんは女性にできるがんの中で一番多く、全国で年間約1万人が命を落としています。

3 検査開始

検査着に着替えます。上半身は下着をつけず、検査着だけです。下は着替えずそのまます。上下分かれた服を着ていきましょう。

健康支援課
主任技師 長谷川 優

検診方法はこの2つ！



マンモグラフィ検査

乳房を片方ずつ圧迫板で挟み、それぞれ縦と横からの計4枚をレントゲン撮影します。圧迫している時間は10秒ほどで、痛みの感じ方には個人差があります。

検査で分かること

触診では分からない早期のがん、石灰化※の有無が分かります。

※カルシウムが結晶化して沈着したものの。良性のものと、がん細胞が増殖していく過程で生じるものがあります。



超音波検査

乳房に超音波を当て、返ってくる反射の様子を画像に写して診断をします。痛みはなく、X線を使わないので、妊娠中でも検査が可能です。

検査で分かること

乳房の構造を観察しながら、小さなしこりを見つけることができます。特に、若年者など乳腺が発達している人に有効です。

特集2

乳がん検診って どんなもの？

乳がんは女性に多く発症するがんで、子育てや介護、仕事などで一番忙しい時期になりやすいといわれています。早期発見に有効な乳がん検診がどのようなものか、検診の様子を紹介します。

[問] 健康支援課 ☎29-5286、FAX29-5208

検診施設に到着！

1 受け付け

施設に到着したら、受け付けを済ませ、問診票をもらいます。



2 問診

問診票に記入したら、看護師の問診を受けます。気になる症状などがあれば伝えましょう。

何か気になることはありませんか？

マンモグラフィ検査は一度も受けたことないの不安で…



初経の年齢や最終月経日、妊娠・出産歴などを記入します。

A Q4

20代は受診しなくてもいいの？

若い人でも、絶対に乳がんにならないということはありません。月に1回のセルフチェックを行い、異常を感じたら受診しましょう。

A Q3

受診対象年齢は？

乳がんの発生率は30代から増え始め、40、50代にピークを迎えます。そのため、市では対象者を30歳からとしています。

A Q2

検診は毎年必要なの？

国の指針では、2年に1回とされていますが、場合によっては進行の早いがんもあり得ます。できるだけ毎年受診しましょう。

A Q1

妊娠中・授乳中でも検診はできるの？

できます。妊娠中・授乳中は乳腺が発達していて、マンモグラフィではしこりを見つけにくいため、超音波検査が採用されます。

まだまだある
乳がん検診
の疑問

乳がんセルフ チェック！



「目で見てチェック」

鏡の前で乳房を観察します。左右で変形や差がないか、しこりがないか、ひきつれ、へこみがないか調べます。

「触ってチェック」

仰向けに横になり、乳房や脇の下にしこりがないか、指の腹で調べます。特に乳がんが発生しやすい外側の上部をよく調べましょう。